

★ 小学5年生のみなさんにおすすめの本 ★



よんでみて!



習志野市立図書館

『ぼくのお姉さん』

丘 修三／作 偕成社 913オ

小学5年生のぼくには、障しょうがいを持っているため17歳さいだけど子どもみたいなお姉ちゃんがあります。ある日、お姉ちゃんおねえちゃんが福祉作業所ふくしきぎょうしょで働いた初はじめてのお給料きゅうりょうで、ごちそうしてくれることになりました。



『びりっかすの神さま』

岡田 淳／作・絵 偕成社 913オ

4年1組の教室には「びりっかすの神さま」がいます。クラスの中でびりになると、この神さまを見ることができるとです。でも、なぜだか始はじめは転入したその日から見ることができました。そしてだんだんクラスメイトにも…。



『源平の風 白狐魔記1』

斉藤 洋／作 偕成社 913サ

人間きょうみに興味を持ち、人間の言葉を覚えた狐きつね。白駒山の仙人しらこまさんと出会い、修行によって人間に化けることも覚え、「白狐魔丸しらこままる」という名前もつけてもらいます。白狐魔丸は旅に出ます。「人間はなぜ人間同士殺し合うのか」その答えを求めて。

※「白狐魔記」シリーズは6巻まで続きがあります。



『ねこじゃら商店へいらっしゃい』

富安 陽子／作 ポプラ社 913ト

「ニャゴ、ニャゴ、ニャアゴ、ニャンゴロロ…」ねこじゃら商店の店主は、大きなブチねこ白菊丸しろぎくまるです。ガマガエルからの注文のものを用意するためにへんてこな歌を歌いながら、しずかな夜の道を歩きます。



『スチュアートの大ぼうけん』

E. B. ホワイト／作 あすなる書房 93ホ

リトル家の次男^{じなん}のスチュアートは、身長が5センチでハツカネズミにそっくりです。小さなからだのスチュアートですが、どんなことにもゆうかんに立ち向かい、次々と冒険^{ぼうけん}をくり広げていきます。



『グリーン・ノウの子どもたち』

ルーシー・M. ボストン／作 評論社 93ホ

7才の少年トーリーは冬休みを大おばあさんのもとですぐすことになりました。その家はイギリスの田舎^{いなか}にあるグリーン・ノウというお屋敷^{やしき}でした。そしてトーリーはこの家に300年も前に生きていた子どもたちと、友だちになっていくのです。

※「グリーン・ノウ物語」シリーズは6巻まで続きがあります。



『シャーロットのおくりもの』

E. B. ホワイト／作 あすなる書房 93ホ

ザッカーマンさんの納屋^{なや}には豚^{ぶた}のウィルバーとなかよしのクモのシャーロットと色々な動物が住んでいます。そして、ハムにされるウィルバーを助けるためにシャーロットが起こした奇跡^{きせき}とは…。



『のっぽのサラ』

パトリシア・マクララン／作
福武書店・徳間書店 93マ

パパが新聞で新しい奥さん^{おく}をぼしゅうしました。それを見て、ためしにひと月の間、サラが来ることになりました。サラはのっぽでぶさいくでした。でも、いろいろなことを教えてくれます。はたしてサラは、うちに残ってくれるでしょうか。



『ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり1』

C. S. ルイス／作 岩波書店 **93ル**

田舎にある学者先生の屋敷にやってきた4人兄妹が、大きな衣装だんすに入るとそこは別世界ナルニア国でした。白い魔女のせいで冬の世界になったナルニア国を取り戻すため、ライオンのアスランたちと共に白い魔女に闘いを挑みます。

※「ナルニア国ものがたり」シリーズは7巻まで続きます。



『エーミールと探偵たち』

エーリヒ・ケストナー／作 岩波書店 **94ケ**

ベルリンに住んでいるおばあちゃんに会いに行く列車の中で、お母さんから預かった大切なお金を盗られてしまったエーミール。犯人をつかまえるために、街で出会った少年たちと一緒に知恵をしばって協力し、大騒動をくり広げます。

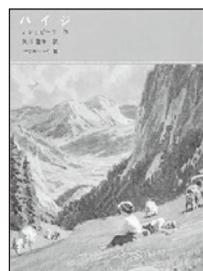
※続きに『エーミールと三人のふたご』があります。



『ハイジ』

J・シュペーリ／作 福音館書店 **94ス**

アルプスの山の牧場で、ちょっとへんくつなおじさんに育てられたハイジは、心のやさしい少女です。ハイジのやさしい気持ちとはげまして、病弱な少女クララは元気になっていきます。美しい自然の中で大らかで素直に育ったハイジの物語を読むと気持ちがあたたかくなります。



『小さなバイキングビッケ』

ルーネル・ヨンソン／作 評論社 **94ヨ**

ビッケはバイキング(昔のスウェーデンやノルウェーの海岸に住んでいた海賊)の子どもです。ビッケは大人のような力がなくとも知恵をはたらかせて、お父さんや仲間のバイキングたちを助けます。小さなバイキングビッケのゆかいな物語です。

※続きに『ビッケと赤目のバイキング』『ビッケと空とぶバイキング船』『ビッケと弓矢の贈りもの』『ビッケと木馬の大戦車』『ビッケのとおっておき大作戦』があります。



※ の中の記号は、せびょうし せいきょう きこう 背表紙についているラベル(請求記号)です。

『てんぷらびりびり』

まど みちお／作 大日本図書 [911マ]

おかあさんがつくっているてんぷらを見て、心からふと出てきた気持ちが詩になりました。どこにでもある風景や身近にある野菜がたくさんのことばのリズムでおどっているようです。新たな世界を教えてくれる詩集です。



『しらかわのみんか』

島田 アツヒト／文と絵 小峰書店 [Eシ]

しらかわむらでは、昔から合掌造りとよばれる^{がっしょうづく}民家^{みんか}が建てられてきました。何階建てのもの屋根うらを持つ、かやぶきの民家を作るには村の人みんなの力が必要でした。クレーン車や機械を使わず、どうやって大きな家を建てたのでしょうか。



『せいめいのれきし』

バージニア・リー・バートン／文と絵 岩波書店 [E八]

今、私たちがここに^{ふしぎ}生きていること^{うちゅう}の不思議さを考えたことがありますか。宇宙ができて地球ができて、地球上にせいめいが生まれたときから今までのことが、おしばいのようにわかりやすく書かれています。



『ジャガイモの花と実』

板倉 聖宣／作 福音館書店 [47イ]

ジャガイモは、カレーや肉じゃがにかかせない野菜です。よく食べられますが、花や実のことは知られていません。どうやって育つのか、世界で広く食べられるようになったのはいつからか、ジャガイモのことが物語でわかります。



『0.1ミリのタイムマシン』

須藤 斎／作 くもん出版 [45ウ]

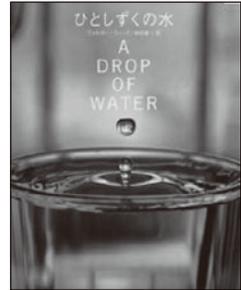
須藤^{すどう}さんは植物プランクトン、ケイソウの化石の研究者です。顕微鏡^{けんめいきょう}で、0.1ミリもない小さな化石を調べます。地球の過去や未来をのぞき見ることができる化石は、まるでタイムマシンのようです。



『ひとしずくの水』

ウォルター・ウィック／作 あすなろ書房 [43ウ]

しずくが落ちた時、どんなふう^{かたち}に水がはじけるか知っていますか。生き物にとって何より大切な水。水は、氷になったり、ゆげ^{ゆげ}になったり、いろいろな形に姿^{すがた}を変えます。ひとしずくの水の美しい姿を写真で見てください。



『みみずのカーロ』

今泉 みね子／作 合同出版 [37イ]

お昼におわるドイツの小学校では、3時間目と4時間目の休み時間におやつを食べます。おやつ^{おやつ}の袋で学校のゴミ箱は、いつもいっぱいでした。シェーファー先生は、ごみをへらすにはどうしたらいいか子どもたちと考えました。



『図書館ラクダがやってくる』

マグリート・ルアーズ／作 さ・え・ら書房 [01ル]

習志野市には「きぼう号」というバス型の移動図書館があり、市内のいろいろな所に本を運んでいます。世界にはラクダやゾウが本を運んでいる国もあります。世界にはどんな移動図書館があるのでしょうか。



※ 中の記号は、^{せびょうし}背表紙についているラベル(請求記号)です。

よろこそ図書館へ!

初めて本を借りるとき

住所の書いてあるもの(名札、自分のところに来た手紙など)を持ってカウンターに来て下さい。「図書館カード」を作ります。

借りるとき

借りたい本と、図書館カードをカウンターに持って来て下さい。

1人**10冊**まで**2週間**借りられます。

CD・DVDは**2点**まで**2週間**借りられます。

返すとき

市内のどの図書館でも資料を返すことができます。

(図書館カードは必要ありません)

カウンターに本を持って来て下さい。

図書館がお休みの時は、ブックポストに返すこともできます。

本が見つからないとき

図書館の人に聞いて下さい。

貸出中の本は、予約することもできます。

1人が予約できるのは、本が10冊、CD・DVDは2点までです。

「予約・リクエストカード」を書いてカウンターに出して下さい。

※**図書館は本をさがすお手伝いもしますので、
カウンターの職員に気軽に声をかけてください。**

